

# WEEKLY

Rotary



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日  
●事務局 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話<0586>24-1931 ☎491-0858

# 一宮

題字 PG 安野譲次



重文「陵王」面 真清田神社蔵

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

URL:<http://rc138.org> E-Mail:[rc138@lily.ocn.ne.jp](mailto:rc138@lily.ocn.ne.jp)

2022年6月16日  
第3508回例会

## プログラム

### 卓話

山本 理江氏

(管理栄養士・フードコーディネーター)  
テーマ「健康な毎日を過ごすために  
今日から出来る食スタイル改善とは」

ロータリーソング 「我等の生業」

第3507回例会の記録  
2022年6月2日(木)

### 会長挨拶

皆様、こんにちは。

今日のお客様は、米山奨学生カルキ・ダル・バハドゥル君と東海 NEXUS 監督碇穂さんです。碇監督には後ほど「自分らしくあなたらしく LGBTQ と企業普通ってなあに」について卓話を頂きます。

先週の例会のおりに、一宮市教育長 高橋信哉さんに Z 世代の人材教育について卓話を頂きました。我々、企業活動の中にも沢山の Z 世代ミレニアル世代の人達が働いてくれています。講師が話された日頃、校長や教頭に伝えておられる、その気にさせる「きく」を大事にすることが大変勉強になりました。若者達は強く叱られずに育ち、争うのに慣れていない世代だと言われ、少し叱っただけでもとパワーハラと勘違いされてしまいます。大切な社員をうつ病にしないために、早速会社の管理職教育に使わせていただきました。

今日のロータリーの学びは、作家 宇野千代さんの「運は自分がこしらえるもの」です。人生を幸せに生きるコツは、どんなことがあっても幸せだなどと考え、決して運が悪いとこぼさず、人生いいように考えることが運が良くなるコツと書かれています。

梯 國彦

理事会報告  
6月度理事会報告

鈴木洋志

### \* 報告事項 \*

- ☆ 6月度のプログラムは週報掲載
- ☆ 5月度のニコボックス 35,000 円
- ☆ 5月度のドリンクニコボックスは 1,470 円
- ☆ 江崎 哲君退会

### 次回の予定

北折 一氏  
制作プロデューサー

会長 梶 梶 木 洋 志 会長エレクト 関 戸 吉 藤 真 幹  
幹 事 鈴 木 洋 志 副 幹 事 吉 藤 真 幹  
副 會 長 猪 子 誠 兒 會 報 委 員 長

- ☆ 第40回米山功労クラブ感謝状
- ☆ 2022-2023年度委員会構成表(案)
- ☆ ロータリーレート6月より127円(現行130円)
- \* 協議事項 \* 以下の項目を承認
- ☆ 新会員入会 土川正夫君 推薦者 関戸 徹君  
墨 大輔君 推薦者 豊島半七君
- ☆ 新旧合同米山記念奨学委員会登録
- ☆ 2021-22年度地区委員会会長懇談会登録
- ☆ 2022-23年度地区会員増強セミナー2名登録
- ☆ 米山学友合同研修会登録
- ☆ 事務局員夏季賞与

### ロータリーの友6月号

浅井貴裕

横組み5頁に2021-22年度国際ロータリー会長シェカール・メータ氏が様々なチャレンジをした1年を振り返られ、最後に「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」とメッセージがあります。

7頁からは、特集 規定審議会から見えてくるロータリーの方向性として3年に1度開催される規定審議会が今年4月に開催され、そのリポートが掲載されています。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、ハイブリッド式の審議会となっています。11頁には時差の関係などもあり代表議員のつらさも吐露されています。また、その上に、雑誌の電子化についての提案の否決の紹介もあり、デジタル化推進の困難さが垣間見えます。

33頁にはエバンストン便りとして、戦禍にあるウクライナへ人道的支援が続けられていることを紹介されています。戦禍にある国への支援は軍事支援と同等であり、平和憲法下にある日本人としては人道的支援という奉仕をすることが大切であることを再認識致します。

縦組み4頁に2021年7月20日に開催された第2700地区 糸島RC環境保全事業講演会「科学の目で見た海のプラスチックごみ」が紹介されています。様々な問題を提起しているプラスチックですが、プラスチックそのものを食べても人体への影響はありません。ただし、プラスチックが分解されてマイクロプラスチックの形態で生体内へ蓄積されます。食物連鎖の頂点にいる人間も体内にマイクロプラスチックを蓄積していることがわかつてきました。

我々がコロナ禍で学んだ事の一つは、事実を知り、適切に対処するということだと思います。使わなくてよいプラスチックは使わない、プラスチックを使わないといけない人は最小限で使用するなど、正しい使い方が望れます。

広報雑誌委員長を仰せつかり、私のつたないロータリーの友の紹介を、コロナのおかげで半数以上でできず、皆様の時間の無駄遣いにならなかつたことが唯一の救いでした。1年間ありがとうございました。

